

優秀賞

おじいちゃん

神奈川県 湘南白百合学園二年 和田 杏

わたしはおとうさんが大好きです。おとうさんはいつでもやさしくてゆうかんです。

ある日、かぞくでおさんぽに出かけたとき、おばあさんが立ちどまってこまっていました。どうやらじてん車のかぎをなくしてうごけなくなってしまったようです。そこでおとうさんがじてん車やさんへはこんであげることになりました。じてん車やさんはすこしとっておくで大へんだったけど、おとうさんはあせをぬぐいながらもさいごまでやりとげました。おばあさんはとてもよろこんで、おとうさんにかんじやしていました。

わたしはおとうさんがヒーローみたいでかっこいいなところがじりじりあつくなりました。じまんのおとうさんだなとうれしくなりました。「わたしもおとうさんみたいなヒーローになろう」とそのときけっしんしたのです。

つぎの日学校に行くとき、でん車でおもたいにもつをもったおじいさんがわたしの前に立っていました。わたしはきのうのできごとをすぐに思いだしました。

そしてゆう気を出して、

「せきをかわってあげましょうか。」

とこえをくれました。おじいさんは

「ありがとうございます。」

といてすわりました。わたしのにんむはせいこうです。目ひょうが一つたっせいできました。

またあるとき、おともだちが色えんぴつをわすれてこまっています。わたしはそれに気がついて

「いっしょにつかおう。」

とこえをくれました。このにんむはそんなにゆう気はいらなかったけど、おともだちはとてもよろこんでくれたのでうれしい気もちになりました。

ふゆのある日、大雪がふり、一めん雪におおわれました。あさおきておとうさんと雪かきをしました。いえの前がすんだあと、おとうさんはたのまれる前に、おむかいさんとおとなりさんの雪かきもしてあげました。おむかいさんもおとなりさんもお年よりでスコップをもつのも大へんそうだからです。おとうさんはよく気がつくなと思いました。わたしだったら自分のいえの前がすんだらかえってしまふのに…。

そこでわたしは学びました。ヒーローというのは、こまっている人を見つけたときだけたすけるのではないのです。こまるかもしれないな、とよそうして先回りすることも大じなのです。さらにおとうさんのすごいところはたすけたことをいばらず、おれいをくださいともいいません。それこそがまさにヒーローなのです。

わたしはおとうさんよりも多くの人をたすけられるヒーローをめざします。

